

事前評価調書

I 事業概要																																																															
事業名	砂防等事業（通常砂防事業）																																																														
地区名	かねのがわ 金野川																																																														
事業箇所	とよかわしみとちよう 豊川市御津町地内																																																														
事業のあらまし	<p>金野川は豊川市御津町に位置し、保全対象として人家7戸、一般県道豊川蒲郡線を抱える土石流危険溪流である。</p> <p>土石流による土砂災害から人命財産及び公共施設を守るため、砂防堰堤を整備し、土砂災害対策を推進する。</p>																																																														
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人家7戸及び一般県道豊川蒲郡線を土砂災害から保全する。 <p>【副次目標】（必要に応じて記載する）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし 																																																														
事業費	事業費		内訳																																																												
	3.16億円		□工事費2.7億円、□用補費0.3億円、□その他0.16億円																																																												
事業期間	採択予定年度	平成30年度	着工予定年度	平成31年度	完成予定年度	平成38年度																																																									
事業内容	砂防堰堤工 1基、溪流保全工 225m																																																														
II 評価																																																															
①事業の必要性	1) 必要性	流域は荒廃が著しく、不安定土砂が多く堆積しており、豪雨等が発生した際は甚大な被害が発生する恐れがあるため、土石流対策を行い、保全対象を守る必要がある。 費用便益分析マニュアル(砂防事業)に基づき算定したB/Cは2.2で1.0を越えている。																																																													
	判定	A	<p>A： 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B： 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】土石流から保全対象を守る必要があるため。</p>																																																												
②事業の実効性	1) 事業計画	<p>事業計画及び実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> <th>H35</th> <th>H36</th> <th>H37</th> <th>H38</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">工程区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 堰堤工 ・ 溪流保全工</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="4">2.16</td> <td colspan="4">1.0</td> </tr> </tbody> </table>							H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	工程区分	調査・設計	←→								用地補償		←→							工事				←→					・ 堰堤工 ・ 溪流保全工				←→			←→		事業費（億円）		2.16				1.0			
			H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38																																																					
	工程区分	調査・設計	←→																																																												
用地補償			←→																																																												
工事					←→																																																										
・ 堰堤工 ・ 溪流保全工					←→			←→																																																							
事業費（億円）		2.16				1.0																																																									
2) 地元の合意形成	過年度から土砂災害防止法に基づく地元説明会を実施しており、土石流対策の要望の声が高まっている為、地元の協力が得られる環境であると考えられる。																																																														
判定	A	<p>A： 事業計画の実効性が期待できる。</p> <p>B： 事業計画の実効性が期待できない。</p>																																																													

【理由】円滑な事業環境が整っており、計画の実効性が確保されている。

Ⅲ 対応方針

妥当である

事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。
事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。

Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容

■対象（事業完了後5年目） 対象外

【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】

—

【主な評価内容】

砂防堰堤や保全対象の状況から事業効果を確認する。